

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

11月1日号への掲載の申込みは、9月26日(火)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、
FAX 983・2719

文化

劇団 DAN 秋公演「狩野川台風」

☎9月16日(日)午後6時30分から、17日(月)午後1時から 三島市民文化会館大ホール
▶前売り500円 ▶当日700円 ※チケットは市民文化会館窓口、文盛堂、やまがた楽器、三浦青果、葦山時代劇場、劇団DANに直接予約(全席自由)
☎・劇団DAN・松井 ☎080・3625・1085

第48回イーゼル会絵画展開催

☎9月28日(木)～10月1日(日)午前10時～午後5時 ※最終日午後4時まで 生涯学習センター3階市民ギャラリー
☎油彩、アクリルで風景、静物画など約30点を展示
☎事務局・淵澤 ☎988・0259

日本刀鑑賞会

☎9月24日(日)午後1時～5時 生涯学習センター5階和室
☎(公財)日本美術刀剣保存協会静岡東部支部会員の蔵刀の展示
☎無料
☎山内 ☎975・7833

仲秋の名月音楽会

☎10月1日(日)午後5時～7時 三嶋曆師の館※駐車場なし
☎ギター三重奏、マンドリン・アンサンブル
☎100円 ※小学生以下無料
☎三嶋曆師の館 ☎976・3088

その他

ボーイスカウト三島第5団バザー開催!

お気軽にご参加ください

☎9月23日(土・祝)午前11時～午後3時 間眠神社
☎焼きそばや炊き込みごはん、お菓子、お値打ち価格の日用品など販売します。お子さまが楽しめるゲームやクラフトも実施します。ボーイスカウトの展示説明や相談コーナー開設 ※雨天時は防災センター内で開催
☎鈴木 ☎090・7439・2325

NPO 法人フレンドシップ・イルカ 地域交流祭

☎9月23日(土・祝)午前10時～午後3時 フレンドシップ・イルカ(塚原新田215・10)
☎手づくり工房イルカのカラダにやさしく安全な無添加のクッキーやケーキのほか、カレー、ハーブチキン、日用品なども販売します
☎イルカ保護者会・鈴木 ☎943・6342

三島長陵高校

生涯学習講座後期受講生募集

☎10月～12月午後6時30分～8時(8回)
☎スペイン語、中国語、エクセル、太極拳、篆刻、水彩画の6講座
☎1講座5,600円
☎・☎9月25日(月)までに三島長陵高校生涯学習講座・新家(にのみ)
☎986・2000

8月1日号29ページの「その他」の「三島はり灸マッサージ師会」記事において誤りがありました。訂正してお詫び致します。
(誤) ☎・☎976・8675
(正) ☎・☎976・8765

♡婚活イベント参加者募集♡

再婚座談会

☎9月24日(日)午前10時～正午
☎中郷文化プラザ
☎再婚経験者や専門家を招き、再婚とはどんなものかなど、今皆さんが持つ悩みについて話し合います。
☎再婚を希望している人、再婚について考えている人
☎30人(子連れ可)
☎SomethingOrange 三島
✉maushima@yahoo.co.jp
☎SomethingOrange 三島・中嶋
☎090・9974・5984
☎政策企画課 ☎983・2698

みしまで男女の出会いの場づくり

体を動かすと恋がはじまる「スポ婚2017」を開催します。

とき	ところ
10月15日(日)午前11時から	市民活動センター
11月12日(日)、12月10日(日)、平成30年1月14日(日)、2月11日(日・祝)午後2時15分から	県総合健康センター

☎簡単なスポーツなど
☎費5,000円(全5回)
☎・☎未婚(20～30歳代) ※5回すべて参加できる人・男女各15人
☎せせらぎスポ婚実行委員会 FAX 973・7802、✉spocon.aikotoba@gmail.com
☎せせらぎスポ婚実行委員会
☎090・9916・2760
☎政策企画課 ☎983・2698

子どもに優しい再婚を目指す おやこん活

イベントに先立ち説明会を開催します。
☎9月15日(金)午後7時
☎北上文化プラザ第2研修室
☎定30人
☎▶三島市、近隣市町在住で母子家庭・父子家庭世帯の親子 ▶子どもはいないが子どものいる人との結婚を望む人
☎・☎NPO法人森のようちえん・太陽と緑の風クラブ・高橋 ☎941・5357
☎政策企画課 ☎983・2698



企画展「静岡県立美術館移動美術展 富士山と静岡ゆかりの画家たち」は、9月15日(金)～10月15日(日)

歴々の小箱

No.352

イギリスに焦がれた
洋画家 栗原忠二



▲栗原忠二肖像写真 個人蔵

楽寿園内にある郷土資料館では、9月15日(金)から静岡県立美術館の収蔵品を紹介する移動美術展「富士山と静岡ゆかりの画家たち」を開催します。今回はそこで二つの作品が展示される三島出身の画家・栗原忠二について紹介します。

がイギリス風景画の巨匠ウィリアム・ターナー(一七七五～一八五一年)に傾倒していたことはよく知られ、同時代の洋画家・曾宮一念(そみやいちねん)は美術学校在学時代の栗原について、「身装までターナーを真似て居ると噂されて居た」「私の同級生達は彼のことを「栗原ターナー」と呼んで居た」と書き残しており、在学中に描いた《月島の月》(郷土資料館所蔵)には彼のターナー趣味が実によく表れています。

栗原は卒業後、英国留学を果たしました。大正元年(一九一二年)十月に横浜港を出港し、一カ月半の船旅の後にロンドンの地を踏みます。彼は当時の心境を「五年の昔しよりして夢に見し、けふテムスの月を見んとは」という歌で表しており、憧れの地に降り立った感慨がいかにどのものだったのかが想像されま

す。その後、彼はロンドン郊外にアトリエを構え、当時著名であった芸術家フランク・ブラングイン(一八六七～一九五六年)に師事し、欧州各地を旅しながら風景画を描いて日英両国で名声を得るようになりました。右下は、ロンドンの中心に建つセ



▲栗原忠二《セントポール》 1916年頃 静岡県立美術館所蔵

ント・ポール大聖堂を描いた《セントポール》という作品です。手前には、テムズ川の荷船の積み下ろしを行う荷役人たちの姿が描かれ、大聖堂の背景には青空と白雲が描かれています。港湾労働者を力強く描く筆致は師のブラングインが得意としたところであり、栗原が師のもとで研鑽し、より豊かな表現方法に身につけたことがわかります。栗原は大正期をほぼ英国で過ごし、昭和二年(一九二七年)に帰国しました。その後は東京の西荻窪に三島の工務店の設計で欧風のアトリエを建て、築地に洋画研究所を設立して、洋画・水彩画の普及と後進の育成にとめました。

《セントポール》は9月15日(金)から楽寿園内郷土資料館で公開します。ぜひ鑑賞ください。

私の自まんは、とにかく働きの料理上手なおばあちゃんです。おばあちゃんは老人ホームで働いて、毎日お年寄りのお世話をしています。食事や歩行の手伝いをしたり、歌を歌ってあげたりしています。長い間病院で働き、今は施設で働いている、働きの者のおばあちゃん。姿が目にはうかがえます。旅行とゴルフが好きな元気いっぱいおばあちゃんです。私のおねがいごとはほとんど聞いてくれます。私はそんなおばあちゃんにありがとうございます。

わたしのおばあちゃん

当番 えんどうじゅなさん



藤井公忠 70歳 光江
遠藤樹奈(沢地小6年)